

滋賀県内企業動向調査 ～2025年1-3月期の実績見込みと4-6月期の見通し～ 景況感は5ポイント低下の▲16で、2四半期連続で悪化

(株)滋賀銀行のシンクタンクである(株)しがぎん経済文化センター(取締役社長 波田 晋一)では、県内企業の景況感を調査するために「滋賀県内企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。このほど2025年1-3月期分の調査結果をまとめましたので、公表いたします。

【調査の概要】

- ・調査名：滋賀県内企業動向調査(2025年1-3月期)
- ・調査時期：2025年2月3日～19日
- ・調査方法：郵送またはFAXによる配布、回収
- ・調査対象先：滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業87社
- ・回答数：241社(有効回答率27%)うち製造業97社、非製造業144社
- ・分析手法：DI(ディフュージョン・インデックス)
＝「増加(かなり良い・やや良い・上昇・過剰等)」の回答割合から、
「減少(かなり悪い・やや悪い・低下・不足等)」の回答割合を引いた指数を採用

【調査結果の要旨】

1. 現在の業況判断(P2～4)

- ・今回調査(25年1-3月期)での自社の業況判断DIは▲16で、前回(24年10-12月期)の▲11から5ポイント低下し、2四半期連続で悪化した。物価高騰や人件費上昇の影響に加えて、トランプ米政権の通商政策による先行き不透明感から、企業の慎重姿勢が強まっているとみられ、県内の景況感は悪化した。
- ・製造業は▲25で、前回の▲17から8ポイントの低下となった。一般機械(▲14→0)はマイナス水準からゼロとなり、化学(▲29→▲20)などはマイナス幅が縮小したが、輸送用機械(0→▲50)や繊維(0→▲33)はゼロからマイナス水準となり、電気機械(▲67→▲86)や精密機械(▲60→▲75)などはマイナス幅が拡大した。
- ・非製造業は▲11で、前回の▲7から4ポイントの低下となった。その他の非製造業(0→+14)はゼロからプラス水準に、建設(▲13→▲4)や卸売(▲33→▲25)はマイナス幅が縮小したが、サービス(+15→▲23)はプラス水準からマイナス水準に転じ、不動産(+18→0)はプラス水準からゼロとなった。
- ・3カ月後(25年4-6月期)は製造業が9ポイント上昇(▲25→▲16)、非製造業が1ポイント上昇(▲11→▲10)、全体でも3ポイント上昇の見通し(▲16→▲13)。

2. その他の判断項目(P5～8)

- ・売上DI(+3→▲4)は7ポイント低下し、3四半期ぶりのマイナス水準。
- ・経常利益DI(▲15→▲12)は3ポイント上昇するも、14四半期連続のマイナス水準。
- ・製・商品の在庫DI(+7→+8)は1ポイントの上昇。
- ・販売価格DI(+27→+25)は2ポイントの低下。
- ・仕入価格DI(+55→+55)は横ばい。
- ・販売価格DIから仕入価格DIを引いた値(▲28→▲30)は2ポイントの低下となった。2四半期ぶりの低下となり、物価や人件費の高騰などから仕入価格が高止まりし、企業の収益面での課題となっているとみられる。
- ・生産・営業用設備DI(▲1→▲3)は2ポイント低下し、3四半期連続で不足超となった。
- ・雇用人員DI(▲32→▲37)は5ポイント低下となった。業種別にみると、製造業(▲23→▲27)は4ポイントの低下、非製造業(▲37→▲43)は6ポイントの低下となり、製造業、非製造業ともに不足感が一層強まっている。

(次ページに続く)

3. 設備投資の実施状況 (P 9・10)

- ・設備投資を実施した(する)企業の割合は53%で、前回(56%)から3ポイント低下するも、4四半期連続で50%を上回った。3カ月後(25年4-6月期)は46%となり、50%を下回る見通しである。
- ・主な投資内容は、「生産・営業用設備の更新」と「車両の購入」(ともに37%)が最も多くなり、次いで「OA機器の購入」(36%)となった。業種別にみると、製造業では「生産・営業用設備の更新」(58%)、非製造業では「車両の購入」(51%)が最も多い。

以上

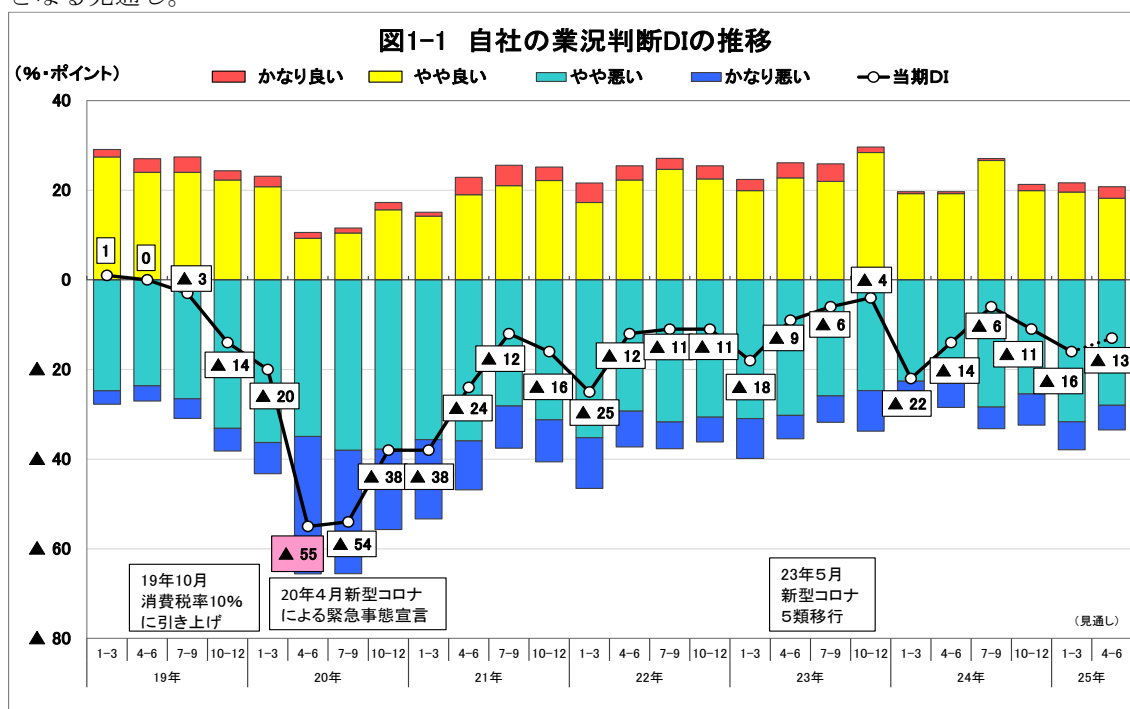
【お問い合わせ先】 榑しがぎん経済文化センター
産業・市場調査部 北村 美弘 (TEL: 077-526-0005)

1. 自社の業況判断

(1) 自社の業況判断DI…製造業、非製造業ともに2四半期連続で悪化

① 全体の動向 (図1-1)

今回調査(25年1-3月期)での自社の業況判断DIは▲16で、前回(24年10-12月期)の▲11から5ポイント低下し、2四半期連続で悪化した。物価高騰や人件費上昇の影響に加えて、トランプ米政権の通商政策による先行き不透明感から、企業の慎重姿勢が強まっているとみられ、県内の景況感は悪化した。3カ月後は3ポイント上昇(▲16→▲13)となる見通し。



② 業種別の動向 (図1-2、表1-1)

業種別にみると、製造業は▲25で、前回の▲17から8ポイントの低下となった。一般機械(▲14→0)はマイナス水準からゼロとなり、化学(▲29→▲20)などはマイナス幅が縮小したが、輸送用機械(0→▲50)や繊維(0→▲33)はゼロからマイナス水準となり、電気機械(▲67→▲86)や精密機械(▲60→▲75)などはマイナス幅が拡大した。3カ月後は9ポイント上昇(▲25→▲16)する見通し。

非製造業は▲11で、前回の▲7から4ポイントの低下となった。その他の非製造業(0→+14)はゼロからプラス水準に、建設(▲13→▲4)や卸売(▲33→▲25)はマイナス幅が縮小したが、サービス(+15→▲23)はプラス水準からマイナス水準に転じ、不動産(+18→0)はプラス水準からゼロとなった。3カ月後は1ポイント上昇(▲11→▲10)する見通し。

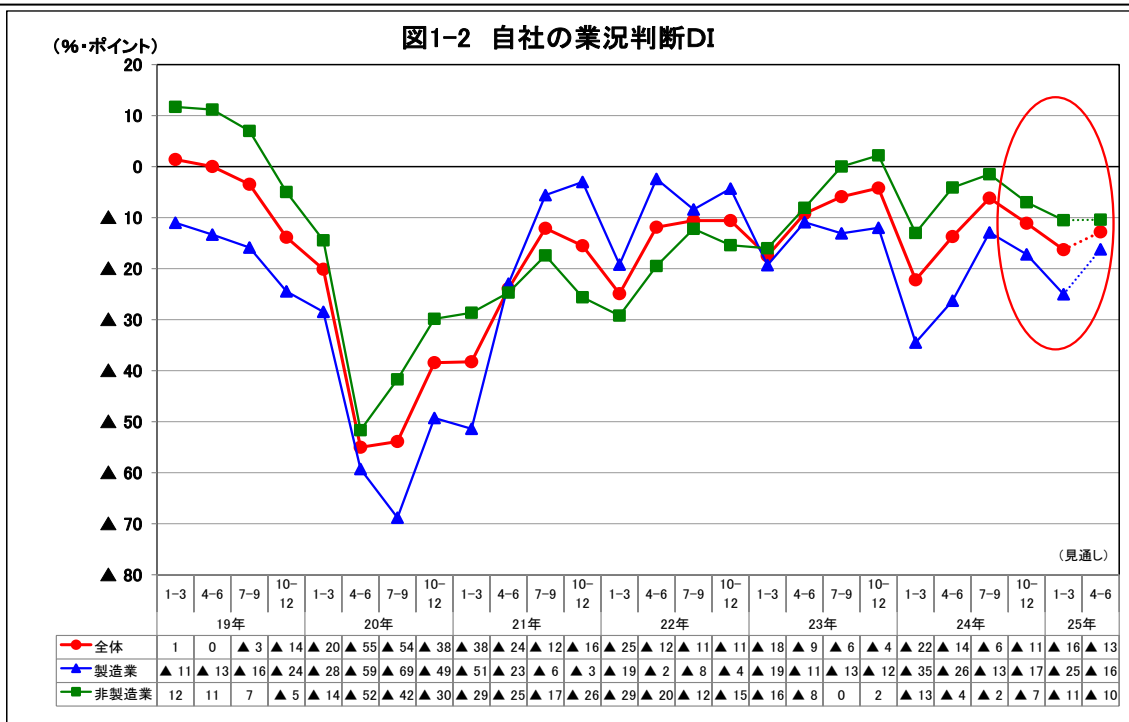


表1-1 自社の業況判断DI(業種別)

業種(※1)	今回の回答社数	24年10-12月期 前回	25年1-3月期 今回(※2)	25年4-6月期 見通し
全体	240	▲11	▲16 (▲13)	▲13
製造業	96	▲17	▲25 (▲25)	▲16
繊維	3	0	▲33 (▲40)	▲33
木材・木製品	×	×	×	×
紙・パルプ	×	×	×	×
化学	5	▲29	▲20 (▲14)	▲20
石油・石炭	×	×	×	×
窯業・土石	×	×	×	×
鉄鋼	×	×	×	×
非鉄金属	×	×	×	×
食料品	11	33	18 (11)	▲10
金属製品	15	▲7	▲13 (▲20)	0
一般機械	10	▲14	0 (▲14)	0
電気機械	7	▲67	▲86 (▲33)	▲29
輸送用機械	4	0	▲50 (0)	▲50
精密機械	4	▲60	▲75 (▲100)	▲50
その他の製造業	24	▲25	▲21 (▲20)	▲24
非製造業	144	▲7	▲11 (▲5)	▲10
建設	49	▲13	▲4 (0)	▲12
不動産	12	18	0 (9)	0
卸売	24	▲33	▲25 (▲29)	▲25
小売	20	▲13	▲15 (▲14)	▲20
運輸・通信	9	13	11 (25)	11
電気・ガス	×	×	×	×
サービス	22	15	▲23 (▲11)	5
リース	×	×	×	×
その他の非製造業	7	0	14 (29)	0

(※1) 回答数が2社以下の業種は非表示(×)

(※2) ()内の数値は前回調査時点での1-3月期の見通し

(2) 前年同期を100とした売上高…製造業、非製造業ともに前年とほぼ同水準(表1-2)

前年同期を100とした売上高を業種別にみると、24年10-12月期(確定分)は製造業が99.9で1.7ポイントの低下、非製造業が102.0で0.4ポイントの低下、全体でも101.1で1.0ポイントの低下となった。25年1-3月期(見込み)は、製造業が102.4で2.5ポイント上昇、非製造業が98.8で3.2ポイント低下、全体では100.4で0.7ポイント低下する見通し。

表1-2 前年同期を100とした売上高(業種別)

業種(※1)	今回の回答社数	24年7-9月期 前回	24年10-12月期(確定分) 今回(※2)	25年1-3月期 見込み
全体	210	102.1	101.1 (100.0)	100.4
製造業	92	101.6	99.9 (98.2)	102.4
繊維	3	107.0	101.0 (120.8)	94.3
木材・木製品	×	×	×	×
紙・パルプ	×	×	×	×
化学	6	116.3	105.3 (102.0)	102.5
石油・石炭	×	×	×	×
窯業・土石	×	×	×	×
鉄鋼	×	×	×	×
非鉄金属	×	×	×	×
食料品	10	97.6	102.4 (100.3)	97.4
金属製品	15	101.3	95.1 (97.1)	105.8
一般機械	10	99.7	105.0 (87.3)	133.8
電気機械	7	109.5	105.6 (92.8)	98.1
輸送用機械	4	104.0	101.3 (116.3)	99.3
精密機械	3	91.0	86.7 (86.0)	86.7
その他の製造業	23	100.8	99.0 (98.9)	97.7
非製造業	118	102.4	102.0 (101.2)	98.8
建設	38	102.3	107.3 (99.7)	103.1
不動産	11	99.9	96.8 (100.8)	96.7
卸売	21	98.3	94.0 (96.4)	92.4
小売	17	102.3	105.4 (99.0)	97.4
運輸・通信	7	107.3	104.4 (105.0)	103.6
電気・ガス	×	×	×	×
サービス	19	104.9	99.6 (107.5)	97.9
リース	×	×	×	×
その他の非製造業	5	109.3	101.2 (112.8)	100.2

(※1) 回答数が2社以下の業種は非表示(×)

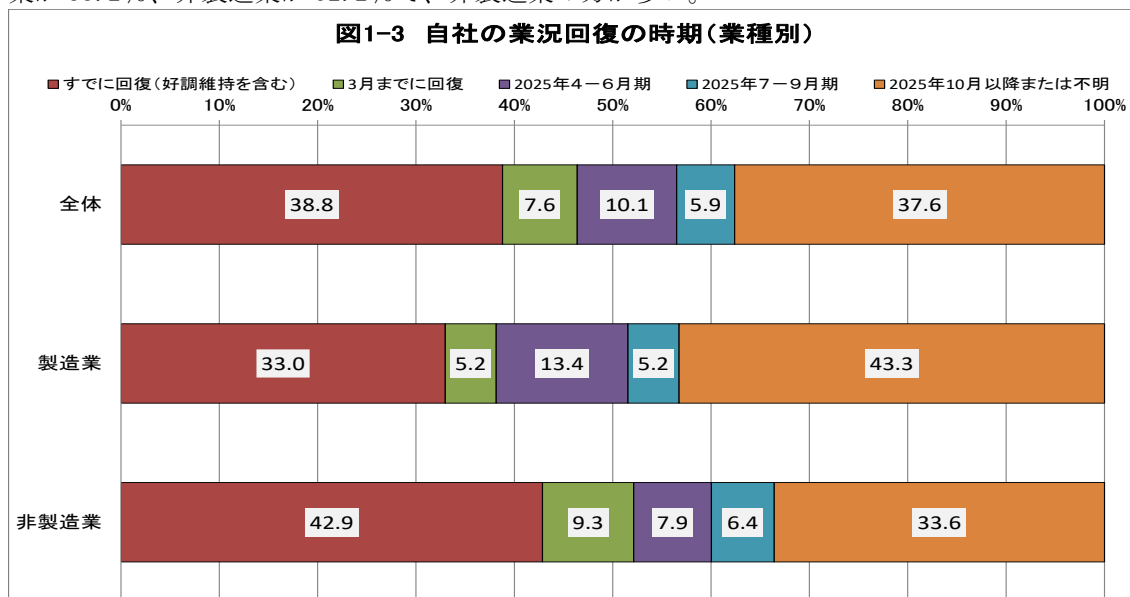
(※2) ()内の数値は前回調査時点での10-12月期の見通し

(3) 業況回復の時期…「25年3月までに回復」(すでに回復を含む)が4割半ば(図1-3)

自社の業況回復の時期は、「25年3月までに回復」(すでに回復を含む)が46.4%で、前回(「24年12月までに回復」(すでに回復を含む)、50.5%)から4.1ポイントの低下となった。一方、半年以上先の「25年10月以降」(回復時期不明を含む)は37.6%で、前回(「25年7月以降」(回復時期不明を含む)、29.2%)から8.4ポイント上昇した。

業種別では、「25年3月までに回復」(すでに回復を含む)と回答した企業の割合は、製造業が38.2%、非製造業が52.2%で、非製造業の方が多い。

図1-3 自社の業況回復の時期(業種別)



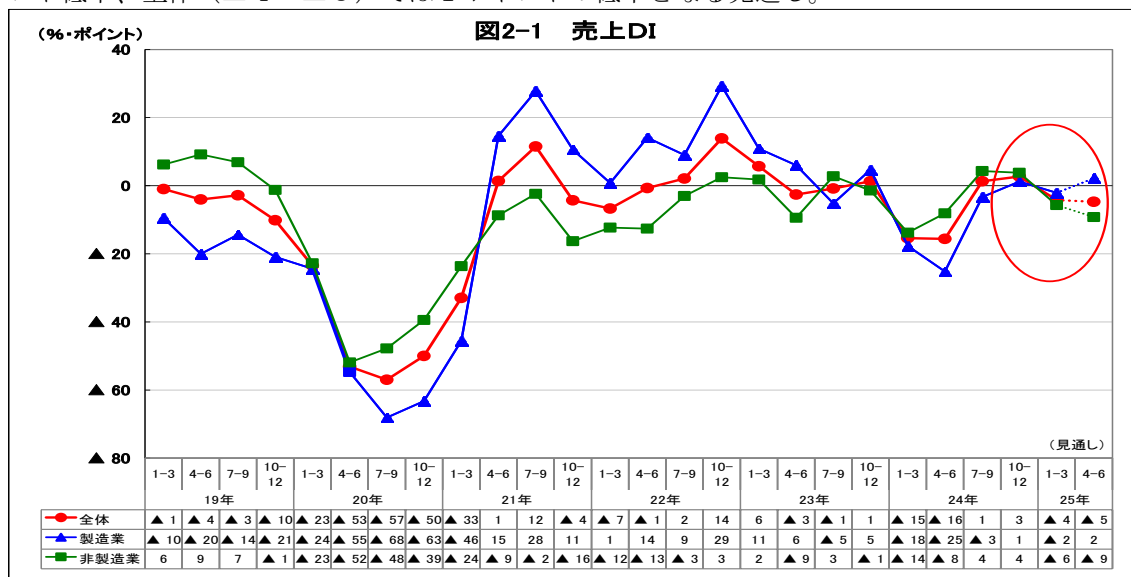
2. その他の判断項目

(1) 売上DI…製造業、非製造業ともにマイナス水準に低下(図2-1)

現在の売上DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は▲4で、前回の+3から7ポイントの低下となり、3四半期ぶりにマイナス水準となった。

業種別では、製造業(+1→▲2)は3ポイントの低下となり、2四半期ぶりにマイナス水準となった。非製造業(+4→▲6)は10ポイントの大幅低下となり、3四半期ぶりにマイナス水準となった。

3カ月後は、製造業(▲2→+2)は4ポイントの上昇、非製造業(▲6→▲9)は3ポイント低下、全体(▲4→▲5)では1ポイントの低下となる見通し。

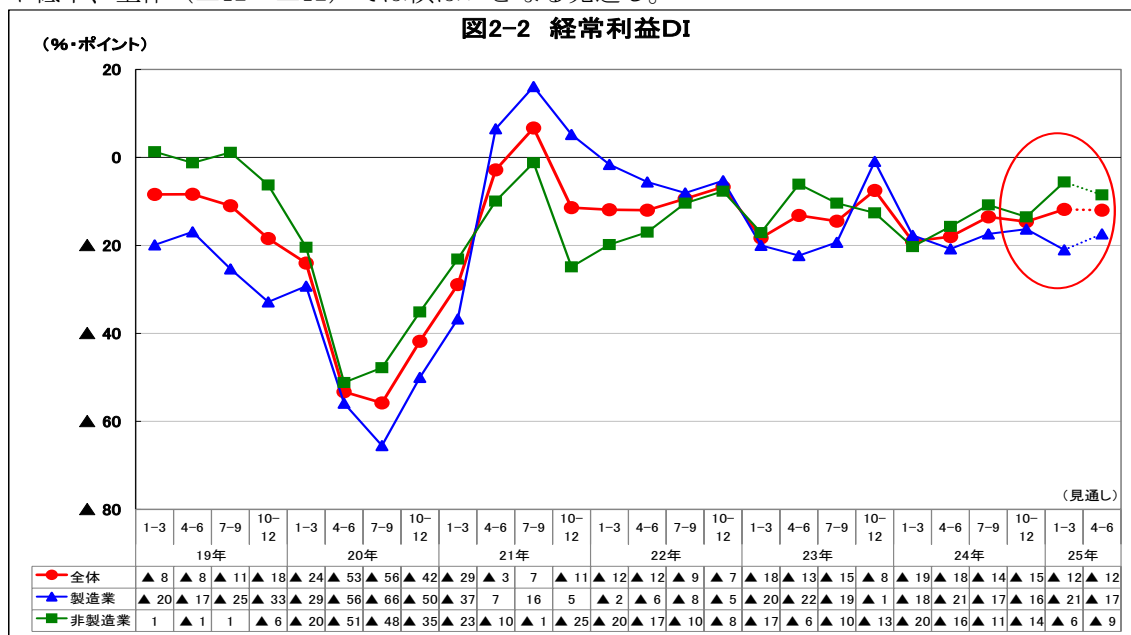


(2) 経常利益DI…前回から3ポイント上昇するも、14四半期連続のマイナス水準(図2-2)

現在の経常利益DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は▲12で、前回(▲15)から3ポイント上昇するも、14四半期連続のマイナス水準となった。

業種別にみると、製造業(▲16→▲21)は5ポイントの低下、非製造業(▲14→▲6)は8ポイントの上昇となった。

3カ月後は、製造業(▲21→▲17)は4ポイント上昇、非製造業(▲6→▲9)は3ポイント低下、全体(▲12→▲12)では横ばいとなる見通し。

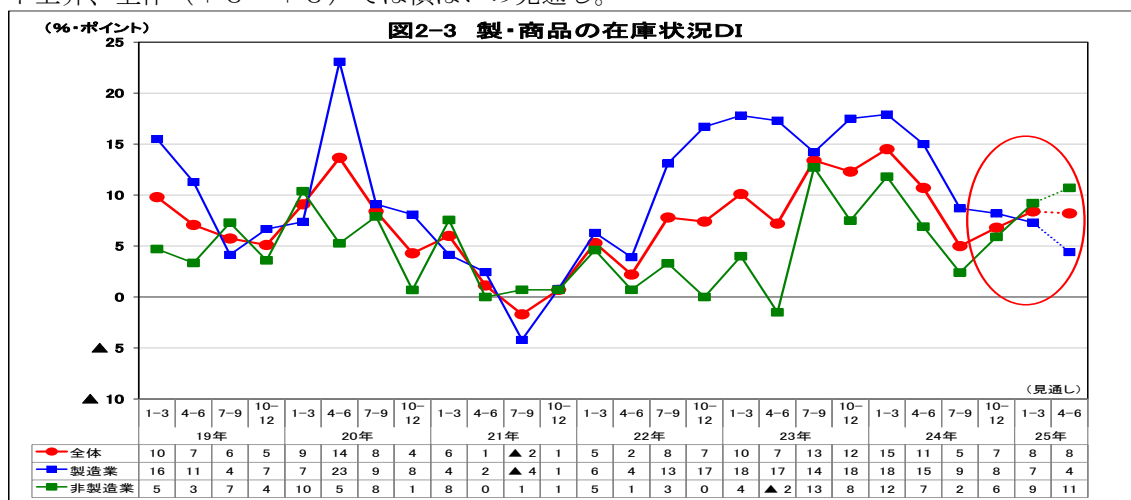


(3) 製・商品の在庫状況DI…前回からほぼ横ばいで、過大超の状態が続く(図2-3)

現在の製・商品の在庫状況DI（「過大」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は+8で、前回（+7）から1ポイント上昇し、2四半期連続で過大感がやや強まった。

業種別にみると、製造業（+8→+7）は1ポイント低下し、過大感がやや弱まった。繊維（▲20→0）は不足感が解消し、電気機械（0→+14）などで過大感が強まったが、一般機械（+43→+33）やその他の製造業（+15→+8）で過大感が弱まり、輸送用機械（+33→0）などは過大感が解消した。非製造業（+6→+9）は3ポイント上昇し、過大感が強まった。建設（+14→+5）や不動産（+10→+9）は過大感が弱まったが、その他の非製造業（▲50→▲25）は不足感が弱まり、サービス（▲13→0）は不足感が解消し、運輸・通信（0→+25）などは過大感が強まった。

3カ月後は、製造業（+7→+4）は3ポイント低下、非製造業（+9→+11）は2ポイント上昇、全体（+8→+8）では横ばいの見通し。

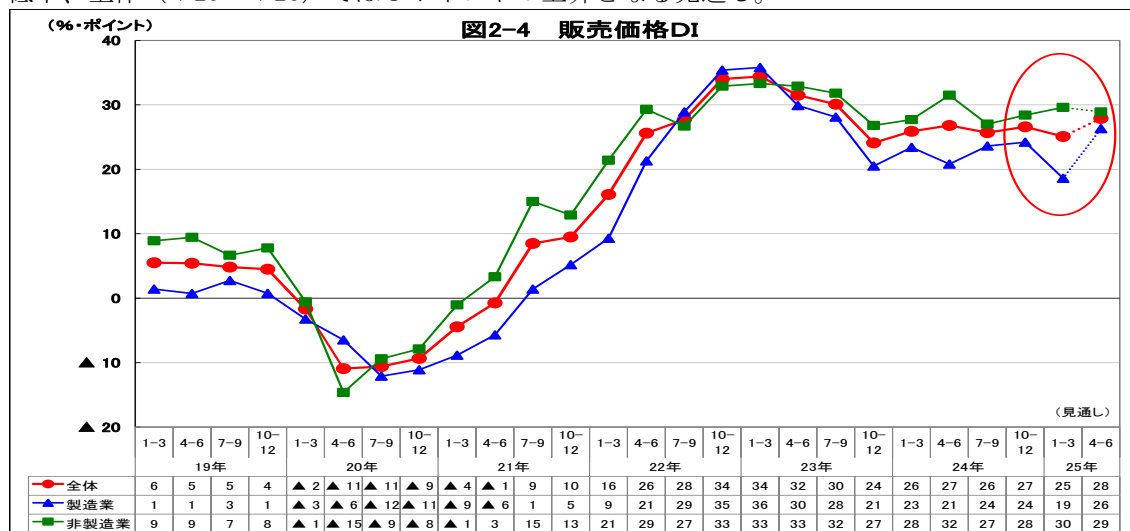


(4) 販売価格DI…製造業は3四半期ぶりに低下、非製造業は2四半期連続で上昇(図2-4)

現在の販売価格DI（「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値）は+25で、前回（+27）から2ポイントの低下となった。

業種別にみると、製造業（+24→+19）は5ポイントの低下となった。繊維（+20→+33）やその他の製造業（+15→+25）などはプラス幅が拡大したが、輸送用機械（+67→+25）や食料品（+44→+27）などはプラス幅が縮小した。非製造業（+28→+30）は2ポイントの上昇となった。運輸・通信（+13→0）はプラス水準からゼロとなり、その他の非製造業（+33→+29）などはプラス幅が縮小したが、不動産（+27→+33）やサービス（+28→+33）などでプラス幅が拡大した。

3カ月後は、製造業（+19→+26）は7ポイント上昇、非製造業（+30→+29）は1ポイント低下、全体（+25→+28）では3ポイントの上昇となる見通し。

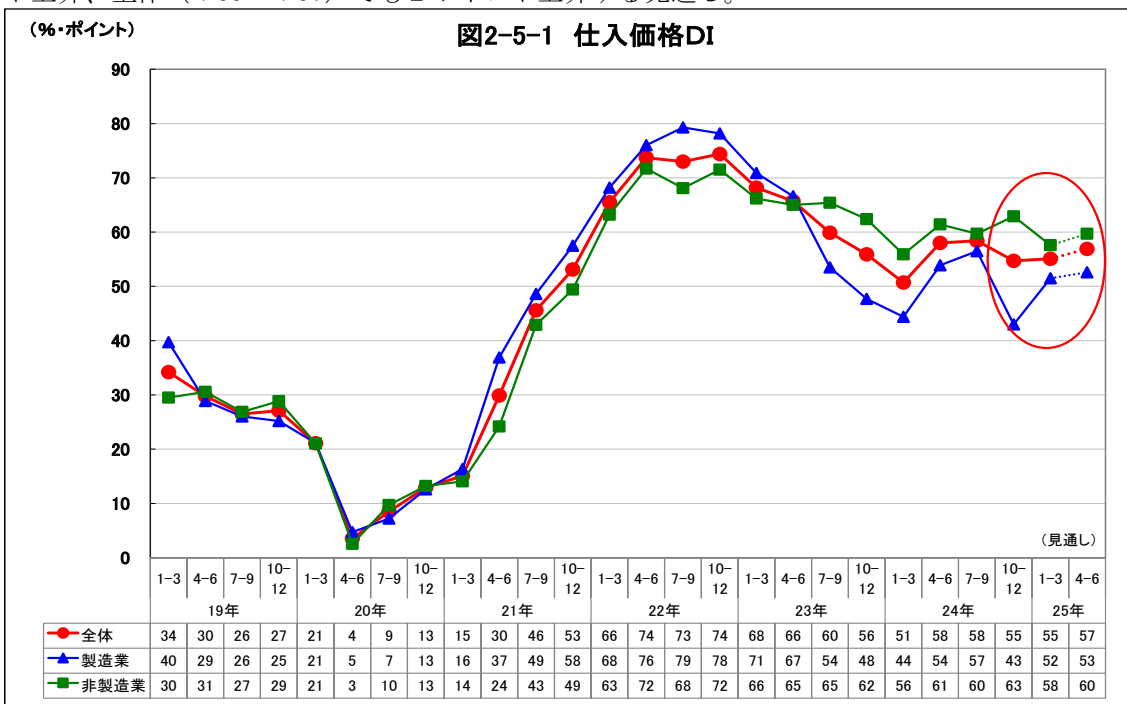


(5) 仕入価格DI…前回から横ばいで、高水準が続く(図2-5-1)

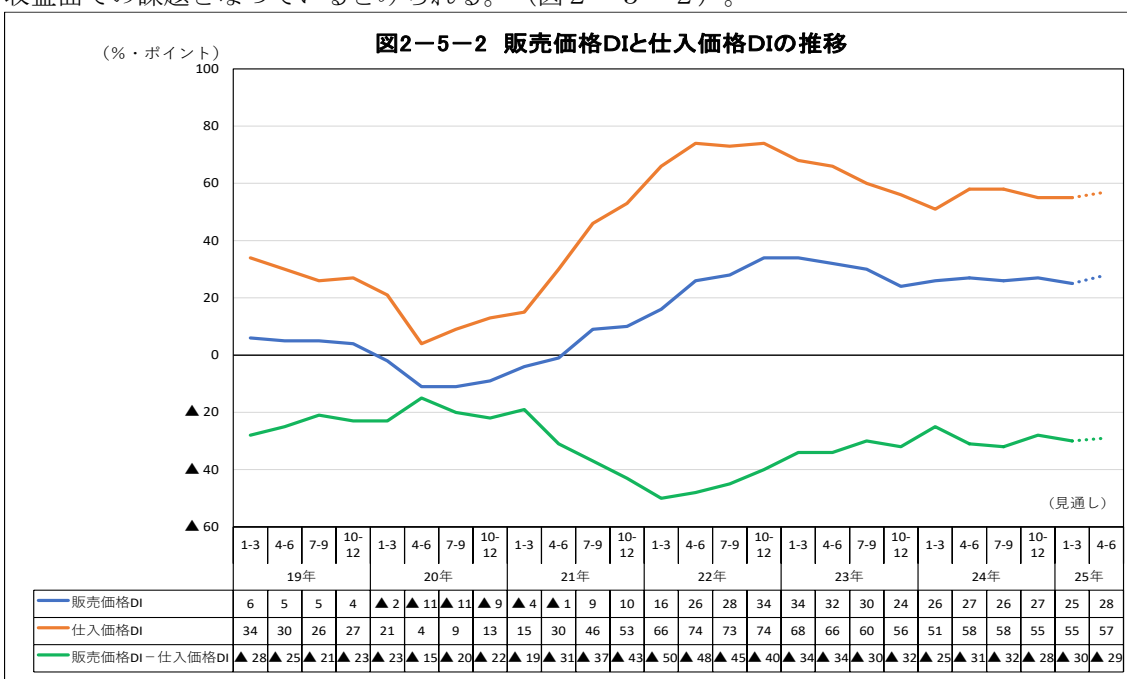
現在の仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+55で、前回(+55)から横ばいとなった。物価や人件費の高騰などの影響で、高水準が続いている。

業種別にみると、製造業(+43→+52)は9ポイント上昇となった。輸送用機械(+67→+25)や化学(+57→+33)は低下したが、電気機械(0→+43)や食料品(+44→+73)など幅広い業種で上昇した。非製造業(+63→+58)は5ポイントの低下となった。小売(+65→+80)やサービス(+59→+65)は上昇したが、運輸・通信(+50→+22)や卸売(+76→+58)などで低下した。

3カ月後は、製造業(+52→+53)は1ポイント上昇、非製造業(+58→+60)は2ポイント上昇、全体(+55→+57)でも2ポイント上昇する見通し。



また、販売価格DIから仕入価格DIを引いた値(▲28→▲30)は2ポイントの低下となった。2四半期ぶりの低下となり、物価や人件費の高騰などから仕入価格が高止まりし、企業の収益面での課題となっているとみられる。(図2-5-2)。

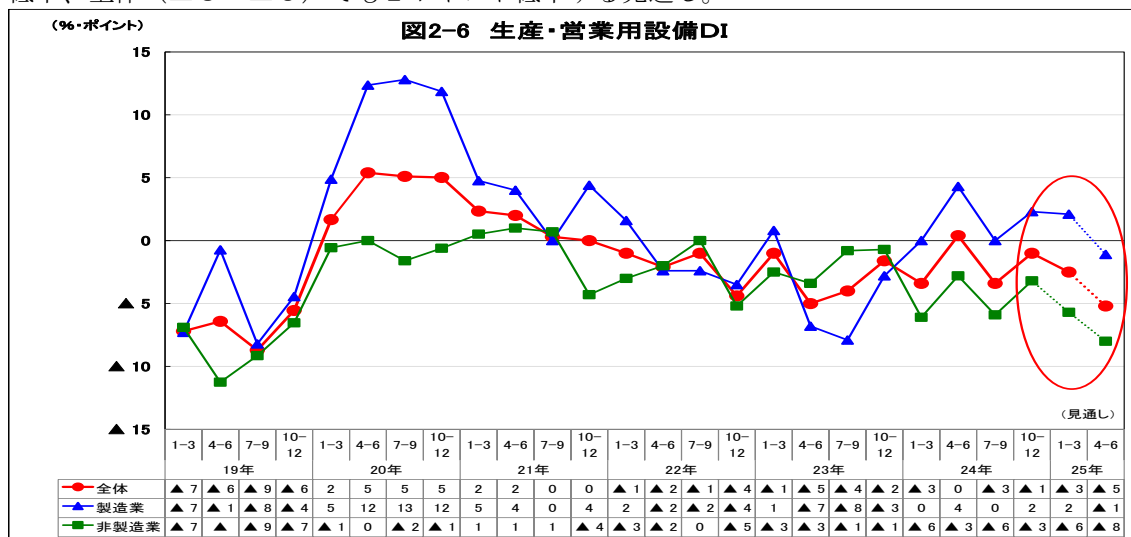


(6) 生産・営業用設備DI…非製造業で不足感が強まる(図2-6)

現在の生産・営業用設備DI（「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は▲3で、前回（▲1）から2ポイント低下し、3四半期連続で不足超となった。

業種別にみると、製造業（+2→+2）は横ばいとなった。一般機械（0→▲30）で不足感が強まり、繊維（+20→0）や精密機械（+20→0）は過剰感が解消したが、輸送用機械（0→+50）や電気機械（0→+14）などで過剰感が強まった。非製造業（▲3→▲6）は3ポイントの低下となった。サービス（▲28→▲14）や小売（▲13→▲11）は不足感が弱まったが、その他の非製造業（+20→0）などは過剰感が解消し、運輸・通信（0→▲11）は不足感が強まり、不動産（+9→▲8）などは過剰から不足となった。

3カ月後は、製造業（2→▲1）は3ポイント低下、非製造業（▲6→▲8）は2ポイント低下、全体（▲3→▲5）でも2ポイント低下する見通し。

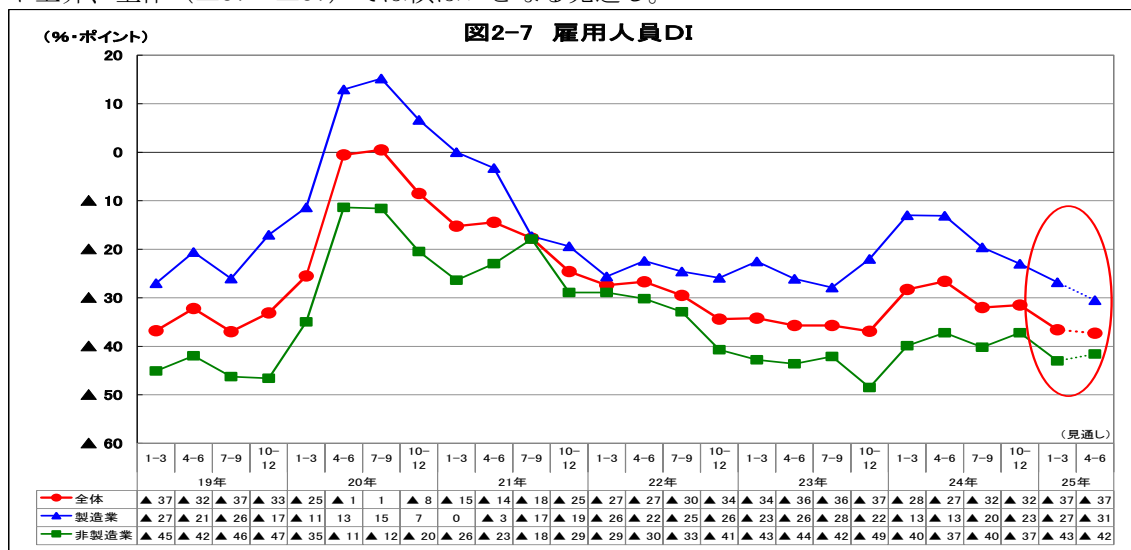


(7) 雇用人員DI…製造業、非製造業ともに不足感が強まる(図2-7)

現在の雇用人員DI（「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は▲37で、前回（▲32）から5ポイント低下し、不足感がさらに強まった。

業種別にみると、製造業（▲23→▲27）は4ポイント低下し、3四半期連続で不足感が強まった。繊維（▲60→0）や精密機械（▲20→0）は不足感が解消し、一般機械（▲57→▲30）は不足感が弱まったが、化学（▲71→▲100）や輸送用機械（0→▲25）などで不足感が強まり、金属製品（+7→▲40）は過剰から不足となった。非製造業（▲37→▲43）は6ポイント低下し、2四半期ぶりに不足感が強まった。運輸・通信（▲25→▲44）や不動産（▲9→▲25）など幅広い業種で不足が強まった。

3カ月後は、製造業（▲27→▲31）は4ポイント低下、非製造業（▲43→▲42）は1ポイント上昇、全体（▲37→▲37）では横ばいとなる見通し。



3. 設備投資の実施状況

(1) 設備投資の実施割合…4四半期連続で50%を上回る(図3-1、表2)

今期(25年1-3月期)に設備投資を実施した(する)企業の割合は53%で、前回(24年10-12月期、56%)から3ポイント低下するも、4四半期連続で50%を上回った。

業種別にみると、製造業は54%で、前回(56%)から2ポイント低下したが、12四半期連続で50%台となった。一般機械(43%→60%)や金属製品(47%→60%)などで上昇したが、繊維(60%→33%)や化学(71%→60%)などで低下した。非製造業は53%で、前回(56%)から3ポイント低下したが、2四半期連続で50%を上回った。その他の非製造業(83%→100%)や建設(50%→55%)などで上昇したが、小売(68%→50%)や運輸・通信(50%→38%)などで低下した。

3カ月後の設備投資実施予定の割合は、製造業が56%で2ポイントの上昇、非製造業は38%で15ポイントの大幅低下、全体では46%と7ポイント低下する見通し。

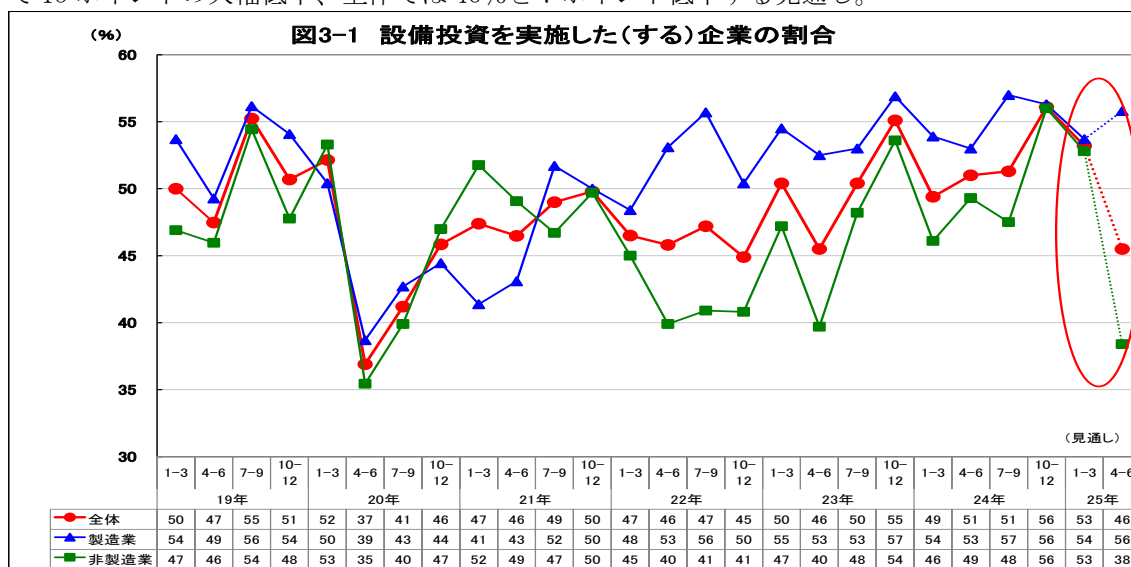


表2 設備投資を実施した(する)の企業の割合(業種別詳細) (%)

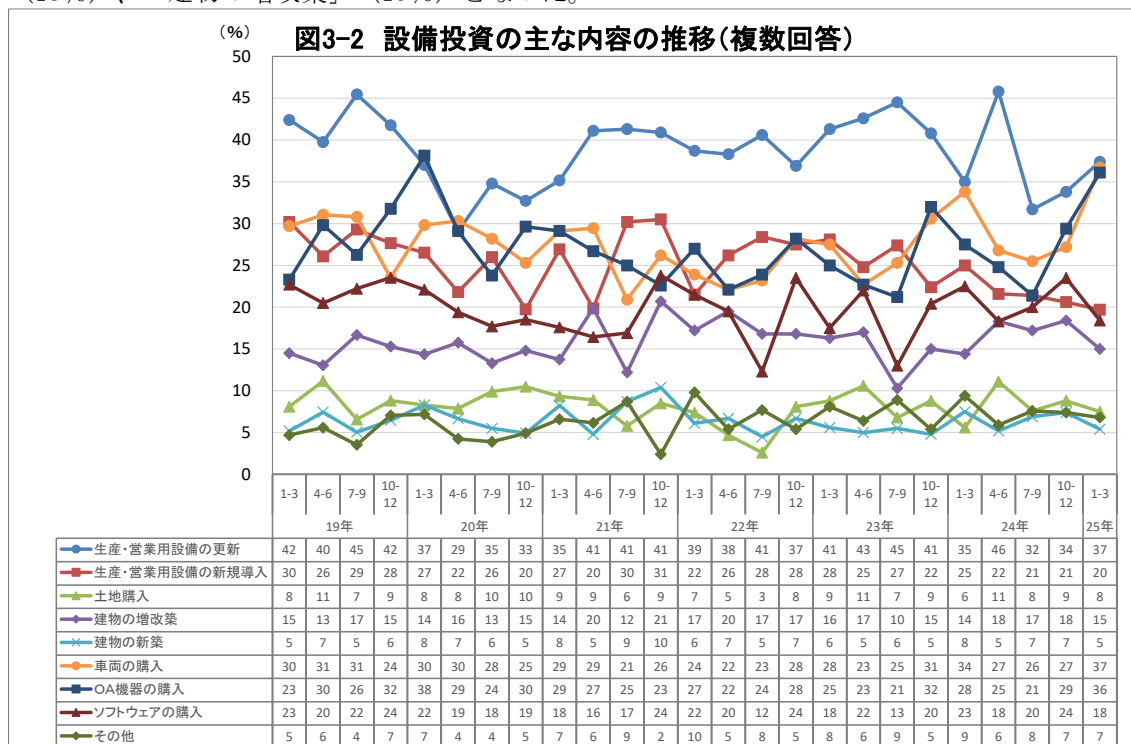
業種(※)	24年 10-12月期 前回	25年 1-3月期 今回	25年 4-6月期 見通し
全体	56	53	46
製造業	56	54	56
繊維	60	33	33
木材・木製品	×	×	×
紙・パルプ	×	×	×
化学	71	60	83
石油・石炭	×	×	×
窯業・土石	×	×	×
鉄鋼	×	×	×
非鉄金属	×	×	×
食料品	67	64	46
金属製品	47	60	71
一般機械	43	60	60
電気機械	50	43	29
輸送用機械	67	75	100
精密機械	20	25	50
その他の製造業	60	52	44
非製造業	56	53	38
建設	50	55	29
不動産	36	42	27
卸売	40	35	41
小売	68	50	50
運輸・通信	50	38	14
電気・ガス	×	×	×
サービス	79	68	48
リース	×	×	×
その他の非製造業	83	100	86

(※) 回答数が2社以下の業種は非表示

(2) 設備投資の主な内容…「車両の購入」「OA機器の購入」が前回から大きく上昇

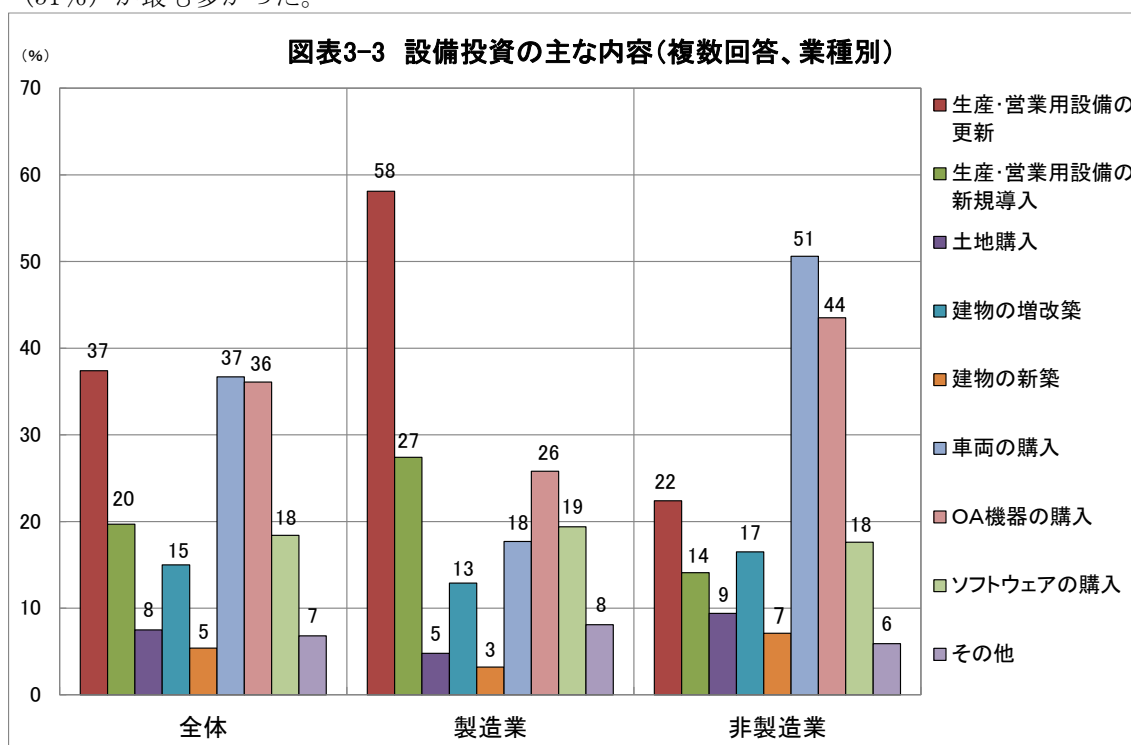
① 全体の動向 (図3-2)

設備投資を実施した(する)企業のうち、設備投資の主な内容を見ると(複数回答)、「生産・営業用設備の更新」と「車両の購入」(ともに37%)が最多となった。次いで「OA機器の購入」(36%)、「生産・営業用設備の新規導入」(20%)、「ソフトウェアの購入」(18%)、「建物の増改築」(15%)となった。



② 業種別の動向 (図3-3)

業種別にみると、製造業は「生産・営業用設備の更新」(58%)、非製造業は「車両の購入」(51%)が最も多かった。



【参考資料】

1. 現在の業況判断の根拠となる具体的な理由や背景（一部抜粋）

【製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
化学	・価格転嫁が進んだ。
非鉄金属	・価格改訂が寄与している。
食料品	・コメの価格高騰により売上が増加している。 ・商品価格の値上げ効果がでている。
金属製品	・船舶関連製品の受注が順調。
一般機械	・自動車用金型の売上が増加。
その他の製造業	・販売価格の見直しにより売上が5~10%増加している。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
繊維	・大手繊維会社の不況が影響している。
化学	・1月末決算では、営業利益が昨年比で30~40%減となる見込み。 ・販売先が在庫過多になっている。
鉄鋼	・受注が約20%減少している。 ・昨年同様に2025年も加工費競争が激しい。
食料品	・生産不良による野菜の高値が影響している。
金属製品	・受注が減少している。取引先から見通しは良くないという意見が多い。 ・取引先（自動車関連）の工場稼働停止が影響。
一般機械	・経済動向が読めないため適正な在庫水準が不透明で受注が減少している。
電気機械	・売上高は前年度より増加傾向であるが、材料費や人件費の高騰により利益の圧迫が見られる。
輸送用機械	・建設用車両メーカーの海外需要低迷が影響している。
精密機械	・中国の需要低下により売上が7%減少。
その他の製造業	・生産台数の減少により、自動車部品の売上が15%減少した。 ・釣り人口の減少、釣りブームの終了。

【非製造業】

「良い」 (かなり良い+やや良い)

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> ・繰越工事の利益率が高く次期も順調に推移できる見込み。 ・公共工事の発注が好調。 ・資材の納期が通常の状態に戻りつつある。 ・工事単価のアップにより、売上が約10%増加。 ・昨年に比べ受注残高が増加した。
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・自社保有の土地を有効活用し賃貸収入が増加している。
小売	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期の燃料売上は9%減少したが、給湯器の取替等、リフォーム売上が42%増加した。 ・1月度の売上高が前年対比105%と伸長している。 ・売上高が前年比103%で推移している。
運輸・通信	<ul style="list-style-type: none"> ・売上、利益ともに増加している。 ・自動車メーカーが部品在庫を増加させたため、倉庫部門の売上が増えた。
その他の非製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・売上増で推移し、受注も継続している。

「悪い」 (かなり悪い+やや悪い)

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> ・競争の激化により、繰越工事額が減少している。 ・冬期は住宅リフォームの依頼が減少する。 ・新築工事、リフォーム工事ともに見込み客づくりができていない状況である。
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高や金利上昇が影響している。 ・資材、原油高騰等で外注工事費が増加している。
卸売	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入価格の値上げが影響している。 ・木材や住宅等の消費減少により売上が減少した。国産材の生産は減少し、価格は下落している。 ・コロナ禍からの回復途上において需要が一気に急増したが、現状はそれらの在庫を順々に消費している段階であり、需要は一時的に停滞している。 ・自動車の先進技術の進化で事故が激減しているため、事故による修理が激減している。 ・新名神高速道路関連の大口工事も終わりつつある。
小売	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高の影響で売上が6%減少した。 ・コロナからイベント等がなくなり売上が20%減少。 ・資材高のため、見積り依頼はあるも成約は鈍い。 ・ガソリンや軽油は価格上昇により売上が減少している。ガスは仕入価格が上昇し利幅が縮小。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の予約状況が前年より若干減少。コストも昨年より増加している。 ・製造業の不況により稼働スタッフが昨対比100人減少したため、売上が30%程度減少した。 ・前年の消費喚起策「しが割」がなくなり集客が悪くなった。

2. DI 回答一覧 (業種別)

項目	業況判断DI				売上				仕入価格				販売価格			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	24年 10-12	25年 1-3	25年 1-3	25年 4-6	24年 10-12	25年 1-3	25年 1-3	25年 4-6	24年 10-12	25年 1-3	25年 1-3	25年 4-6	24年 10-12	25年 1-3	25年 1-3	25年 4-6
調査時期	10-12	1-3	1-3	4-6	10-12	1-3	1-3	4-6	10-12	1-3	1-3	4-6	10-12	1-3	1-3	4-6
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	▲11	▲13	▲16	▲13	3	▲8	▲4	▲5	55	47	55	57	27	22	25	28
製造業	▲17	▲25	▲25	▲16	1	▲18	▲2	2	43	35	52	53	24	22	19	26
繊維	0	▲40	▲33	▲33	60	▲20	33	0	75	40	67	100	20	40	33	67
木材・木製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	▲29	▲14	▲20	▲20	14	▲14	33	33	57	57	33	17	57	43	50	50
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	33	11	18	▲10	33	11	27	27	44	33	73	55	44	33	27	55
金属製品	▲7	▲20	▲13	0	▲7	▲33	0	13	40	27	33	20	20	33	7	7
一般機械	▲14	▲14	0	0	0	0	40	▲10	57	43	80	80	14	14	10	10
電気機械	▲67	▲33	▲86	▲29	▲67	▲17	▲14	▲14	0	17	43	57	0	0	0	14
輸送用機械	0	0	▲50	▲50	0	0	▲25	▲25	67	67	25	25	67	67	25	50
精密機械	▲60	▲100	▲75	▲50	0	▲80	▲67	▲67	20	0	25	0	20	▲20	25	0
その他の製造業	▲25	▲20	▲21	▲24	▲5	▲10	▲13	0	45	45	67	82	15	20	25	27
非製造業	▲7	▲5	▲11	▲10	4	▲1	▲6	▲9	63	55	58	60	28	22	30	29
建設	▲13	0	▲4	▲12	0	▲3	▲4	▲10	69	64	56	58	21	26	21	21
不動産	18	9	0	0	▲36	▲18	▲33	▲17	40	30	45	55	27	27	33	33
卸売	▲33	▲29	▲25	▲25	▲10	▲5	▲13	▲26	76	57	58	58	43	24	42	46
小売	▲13	▲14	▲15	▲20	4	▲9	11	▲11	65	62	80	80	35	27	40	40
運輸・通信	13	25	11	11	63	▲13	22	11	50	50	22	33	13	13	0	0
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	15	▲11	▲23	5	15	21	▲5	14	59	50	65	60	28	12	33	19
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	0	29	14	0	43	43	▲17	▲17	40	40	33	50	33	17	29	43

項目	経常利益				製・商品の在庫				生産・営業用設備				雇用人員			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	24年 10-12	25年 1-3	25年 1-3	25年 4-6	24年 10-12	25年 1-3	25年 1-3	25年 4-6	24年 10-12	25年 1-3	25年 1-3	25年 4-6	24年 10-12	25年 1-3	25年 1-3	25年 4-6
調査時期	10-12	1-3	1-3	4-6	10-12	1-3	1-3	4-6	10-12	1-3	1-3	4-6	10-12	1-3	1-3	4-6
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	▲15	▲18	▲12	▲12	7	7	8	8	▲1	▲1	▲3	▲5	▲32	▲31	▲37	▲37
製造業	▲16	▲24	▲21	▲17	8	1	7	4	2	0	2	▲1	▲23	▲23	▲27	▲31
繊維	0	▲40	▲67	▲67	▲20	0	0	0	20	20	0	0	▲60	▲60	0	▲33
木材・木製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	0	▲43	33	0	14	14	0	0	0	▲14	0	0	▲71	▲57	▲100	▲100
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	▲33	▲22	▲20	▲30	22	11	27	20	0	11	0	0	▲11	▲11	▲18	0
金属製品	▲14	▲14	▲13	7	7	▲7	0	0	0	0	7	0	7	▲7	▲40	▲47
一般機械	▲29	14	▲10	▲20	43	14	33	22	0	▲14	▲30	▲10	▲57	▲43	▲30	▲47
電気機械	▲33	▲17	▲29	▲43	0	17	14	14	0	0	14	▲14	0	0	0	▲43
輸送用機械	100	33	▲25	▲50	33	0	0	0	0	0	50	50	0	33	▲25	0
精密機械	▲20	▲80	▲67	▲67	0	0	0	0	20	20	0	0	▲20	▲20	0	▲25
その他の製造業	▲25	▲25	▲4	▲10	15	5	8	5	0	13	5	▲15	▲25	▲25	▲21	▲14
非製造業	▲14	▲13	▲6	▲9	6	11	9	11	▲3	▲2	▲6	▲8	▲37	▲37	▲43	▲42
建設	▲26	▲13	▲10	▲10	14	11	5	11	3	0	0	▲2	▲59	▲64	▲61	▲57
不動産	▲9	▲36	▲8	8	10	30	9	18	9	0	▲8	0	▲9	▲9	▲25	▲17
卸売	▲30	▲10	▲33	▲29	19	19	21	25	5	5	▲4	▲9	▲14	▲14	▲17	▲25
小売	▲9	▲27	5	▲26	4	14	16	11	▲13	▲9	▲11	▲11	▲44	▲41	▲50	▲50
運輸・通信	13	▲13	56	22	0	0	25	13	0	0	▲11	▲11	▲25	▲13	▲44	▲44
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	▲10	▲5	▲5	9	▲13	0	0	▲11	▲28	▲12	▲14	▲19	▲32	▲33	▲36	▲36
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	40	40	33	17	▲50	▲25	▲25	0	20	0	0	▲17	▲29	▲14	▲43	▲29

※ 回答数が2社以下の業種は非表示 (X と表示)

以上